

湯島小学校 ①3年生 算数「分数」 ②4年生 図工「学校マスコット」

授業のねらい

- ①自分で作った問題を友達に出題する。
- ②学校に隠れたマスコットを見つけ出し、みんなで図鑑を作る。

タブレット端末活用の工夫／教育データ活用の工夫

- ①分数の学習のまとめとして、児童が問題の出題者となり、班の友達と問題を出題し合う活動を行った。単純な式の問題だけでなく、工夫された文章題が出てくるなど児童の意欲的な姿が見られた。
- ②各児童が作成したマスコットを校内の様々な場所に配置し、タブレット端末で撮影し、印刷したものを作品にした。友達と協力して撮影したり、わざと隠れたように撮影したりするなど意欲的な姿が見られた。従来のデジカメとは違い、タブレット端末での撮影のため画像の共有が迅速だった。まとめた冊子は各教室に配置し、データは共有フォルダに格納することで自宅でも見るようにした。



児童の様子

- 多くの児童がタブレット端末に慣れているため、「楽しいもの」という認識から、「鉛筆やハサミなどと同じ道具」という意識になっている。フォルダの整理も慣れてきており、必要な画像だけ残して不要なデータなどを消去する姿も見られた。

成果

- 形にないデータ上の自作の作品や画像を友達と共有する体験は、今後の社会で有用であり、それに小学生のうちから習得させることができていると感じる。
- 図工の撮影の指導で、許可なく他人を撮影しないこと、図書室の本やキャラクターを撮影したものは著作権に関係すること等、モラル教育も行うことができた。

課題

- タブレット端末の扱いに慣れてきた反面、タブレット端末がすぐに起動しない、データの読み込みが遅いなど、性能面の課題はある。図工や理科などで撮影したデータを大切に使うあまり、不要なデータを蓄積してしまう様子も見られた。